



かなざきひさの町政報告

www.kanazaki-hisa.com

第4回定例会報告 令和元年11月28日～12月12日

○ 葉山町立障害者支援施設(葉山はばたき)の 指定管理者の継続が決定

・5年毎に管理者を公募して決定するシステムですが、環境の変化に対応することが難しい通所者にとっては問題であると、一般質問等を通して私は訴えてきました。町長からは「12月に結論を出す」との答弁を得ていましたが、今回議案として提出され、継続が決定しました。

・継続となった社会福祉法人「湘南の凧」は管理者として長年「葉山はばたき」の運営に携わっており、通所者およびその家族からの信頼も厚く、安心して任せられると判断したとの説明がありました。

○ 成年後見制度について

・認知症などで意思能力が低い状態にある人の判断を他の人が行うための制度で、2000年から施行されています。

・この制度を活用して被後見人になると、人としてさまざまな制約を受けます。少しずつ改善されておりますが、まだまだ問題は山積みです。今回は「印鑑登録を受けることができない」とされていたことに対する改善です。葉山町印鑑条例の中で「成年被後見人」を「意思能力を有しない者」と書き換えるための一部改正の提案でした。

・「意思能力を有しない者」と判断するのは医師だそうです。

○ 盛り土に対する近隣住民の不安を 理解して頂くことを求める陳情

・下山口地区に大型開発があり、盛り土が予定されています。
・隣接している住宅の目の前に6メートル近い塀がそびえ立つこととなります。
・それを少しでも改善して欲しいとの陳情です。
・当然の要望で議会としては、町行政の指導を促し、今後見守っていくため、採択しました。

○ 幼児教育・保育無償化の問題点

・国の方針に不備があり、議会としても問題視していることですが、新たに陳情が出ました。

・国の不備に対しての補完として、町独自の支援策を検討して欲しいとの内容です。

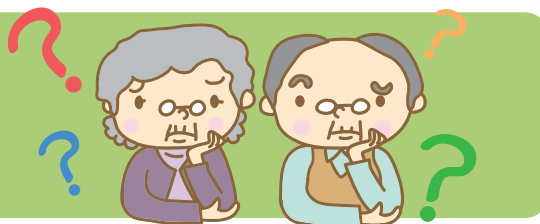
・近隣市では独自の支援策があり、認可外保育施設に通っている子ども間で住所による格差が生じています。

・町民間においても、国の方針に従うと、幼稚園・子ども園に通う子には補助があるが、その他の保育施設では無いという状況です。

・何とかしなければならぬという考えでこの陳情を採択し、担当課との話し合いを進めることとしました。

成年後見制度の問題点

- ・成年後見人を指定するのは裁判所であり、本人等の希望通りにはならない。
- ・いったん後見人が決まると、本人が死亡するまで変更はできない。
- ・しかし、後見人からは「辞める」と言える制度です。おかしいですね。



○ かなざきひさの一般質問

中・高校生議会で提案され、採用すると約束をした案件についても深掘りをしました。

(1) 世代を超えた交流について

質問	答 弁
多世代型のサロンの現況は。	一般介護予防の補助団体は2カ所となっている。(福祉部長)
保育施設と高齢者施設の交流は。	各保育園とも高齢者との交流を行っている。(福祉部長)
町立保育園の交流状況は。	年に1度、グリーンに行っている。また、クリスマスには逆にグリーンの方が園に来て交流している。(福祉部長)
保育園で朝の数分、外国人との交流をしていて、外国語を自然に受け入れる基礎作りをしている先進地を視察してきた。町立保育園で取り入れてはどうか。	そういう提案があったことを保育現場に伝え、状況と必要性について議論をする時間をいただきたい。(町長)





(2)木古庭、上山口の活性化について

質 問	答 弁
葉山の魅力を高める実行委員会の今後は。	地方創生交付金の最終年度なので一旦終了とする。(政策財政部長)
国からの交付金がなくなるので、止めるということか。	町が主体となって登録制度をつくりながら、事業として継続できるような整備体制を確立していきたい。(政策財政部長)
来年度の予算化に向けては。	三浦半島魅力最大化プロジェクトに交付金を里山整備事業が位置づけられているので、要望をしつつ、事業の継続をはかりたい。(政策財政部長)
木古庭・上山口地区全体の里山整備をすると理解して良いのか。	予算の手当はしていくつもりである。(政策財政部長)
現在ある上山口の棚田への手助けをするべきと思うが。	観光の財産として認めていくべきものと考えている。(町長)
交通不便地としての対策は。	高齢者の移動支援を目的とした研究会に参加している。(政策財政部長)
タクシー券補助など免許返納者への支援を考えてはいかがか。	公平性の観点からも研究が必要と思うが、免許返納の促進と足の確保はとても大事なことと認識している。(町長)

(3)空き家の活用について

質 問	答 弁
28年度から続けている「空家対策推進事業」の内容は。	3月に対策協議会を開催するので、今後の計画に基づいた進め方を検討するつもりである。(政策財政部長)
最近、空き家が多くなった。活用に向けて、町がマッチングの役目を担うつもりはないのか。	"町内に空き家がたくさんあるという情報の出し方を町としてすると、町のイメージダウンにつながるのではないかと迷いがある。それも含めて対策協議会で意見を伺いたい。(政策財政部長)"
空き家のままで朽ちさせる方が、よほどのイメージダウンだ。空き家の情報を持っている町が窓口となって、空き家を探している人々をつなぐことが必要と思うが。	葉山らしい「空き家バンク」を研究する。(政策財政部長)

Hisa's Opinion

個人住宅以外にも、町内には保養所など大きな建物が利用されなくなり、マンション、戸建てなどに開発されています。御用邸の町葉山に似合った建物が壊されるのも残念なことです。町として必要な施設を、空き家の活用によって、葉山らしいまちづくりを構築することができるのではないかと考えています。

(4)ごみ行政について

質 問	答 弁
鎌倉・逗子市と葉山町のごみ処理広域化実施計画ができたが、ごみ処理の将来像は。	2市1町はあくまで一過性で、最終的には三浦半島全域またはそれ以上での処理になると思う。(町長)
横須賀市を含めた処理になるための話し合いをしているのか。	2市1町の広域化処理は10年計画なので、将来的にはエリアを広げるスタンスを取る。(環境部長)
2市1町の収集方法が異なっているが、統一するのか。	収集方法は違っても、同じ精度のものに分別することが大切と思っている。(環境部長)
ごみ有料化は。	するつもりはない。(町長)
廃プラ処理の今後は。	可能な限り資源化に努めたい。(環境部長)